

○第1次の学習活動

【ねらい】

障害のある人の映像や、体験学習を通してどのような障害があるかを知る。

【育てたい資質・能力】

知識的側面（様々な障害の特性についての知識・理解）

【展開（1時間）】

学習活動	<p>●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準</p>
<p>① 本時の活動内容を知る。</p> <p>② 障害のある人の映像を見て、様々な障害があることを知る。また映像を見て気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「肢体不自由について」（4分19秒） ・「視覚障がいについて」（3分54秒） <p>https://www.pref.tottori.lg.jp/259282.htm （鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課 あいサポート運動ステップアップDVDより）</p> <p>【肢体不自由の人について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足の不自由な人が、車いすで買い物をしている。 <p>【視覚に障害がある人について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白い杖を使って歩いている。 <p>④ 障害の疑似体験をする。</p> <p>【車いす体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凹凸のついたシートの上を、教師が押す車いすに乗って通過する。 <p>【アイマスク体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイマスクをした状態で、教師の腕につかまり、誘導に従って歩く。 <p>⑤ 体験を通して気がついたことについて発表し、本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑似体験について、自分の気持ちを表すカードをワークシート①に貼る。 <p>⑥ 次回の学習について内容を知る。</p>	<p>●イラスト等を使用し、本時の見通しを持たせる。</p> <p>●障害とは体の仕組みがうまく働かないため、生活の中で困ることが続く状態であることを理解させる。</p> <p>☆様々な障害がある人が生活していることに気付かせる。</p> <p>●疑似体験を行う際には安全面に配慮する。</p> <p>☆体験を躊躇する児童に対して、他の児童の体験を見せるなどして、見通しを持たせ、安心して体験できるようにする。</p> <p>●この後、体験を通じて気がついたことを発表できるように声掛けをし、次の活動への見通しを持たせる。</p> <p>◎動画視聴や体験を通して、様々な障害の特性について知っている。【知識】</p>

○第2次の学習活動

【ねらい】

身の回りにいる障害のある人について知り、共によりよく生きていくため、互いに尊重し合う心や態度を育む。

【育てたい資質・能力】



- ・ 価値的・ 態度的側面(共によりよく生きるため、自分にできることを考えようとする意欲・ 態度)

【展開（1時間）】

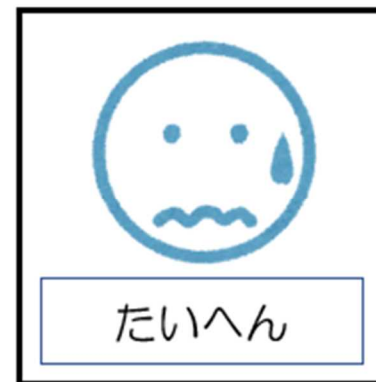
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ●指導上の留意点 ☆人権教育上の配慮 ◎人権教育に視点をあてた評価の規準
<p>① 本時の活動内容を知る。</p> <p>② 前時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 疑似体験を通してどのように感じたかを思い出す。 <p>③ 町の様子イラストを見て、困っている人を見つける。</p>  <p>(仙台市ひとにやさしいまちづくり推進協議会心のバリアフリー啓発ポスター)</p> <p>https://www.city.sendai.jp/chikifukushi/hitoyasa/posterkaisetu.htm</p> <p>④ 学校や自分の回りで障害のある人が困っていた場合にどうすればよいか○◎クイズで考えたり、意見を発表したりする。</p> <p>例：車いすの友達が高い所の荷物をとろうとしてしまいました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通り過ぎる ・ 荷物をとる ・ 「手伝おうか？」と声をかける 	<ul style="list-style-type: none"> ●イラスト等を使用し、本時の見通しを持たせる。 ●前回使用したワークシートやイラストを見て思い出せるようにする。 ●電子黒板に町の様子イラストを提示し、児童が見つけた困っている人の個所に赤い丸印をつける。 <p>☆見つけることができない児童に対しては、「みんなと同じものでも良いよ」等の声掛けをし、発言を促すようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な場面をイメージできるようにスライドを使用する。 ●クイズ形式を取り入れることで、児童が積極的に障害について考えることができるようにする。 <p>☆どんな意見でも安心して発表できる雰囲気づくりのため言葉かけを行う。</p>

<p>⑤ 障害のある人とこれからどのように関わりをもつかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ワークシート②に自分ができると思う行動のカードを貼る。 <p>⑥ 障害のある人が活躍している動画を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2017年世界パラ陸上ロンドン大会男子200m走決勝の様子。 • ピアニスト辻井伸行氏が演奏している様子。 • 東京パラリンピック車いすテニス金メダリスト国枝慎吾さんの様子。 	<p>◎障害のある人に対して自分にできることを考えようとする。【価値・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 困難を乗り越えて活躍する障害のある人の魅力に触れることで、誰もが活躍することができるということを知る。 ● 困難を乗り越えて活躍する障害のある人の魅力に触れることで、誰もが活躍することができるということを知る。
--	---

ワークシート①



	<p>めが みえなくて あるいたきもち くるまいすに のったきもち</p>		

【自分の気持ちを表すカード】



など

ワークシート②

 <p>しょうがいの あるひとが こまっていたときに じぶんに できること</p> 			

【困っている人に対して自分にできることカード】



にもつをはこぶ



ゆずる



たかいところのに
もつをとる



はなしをする

など